

表－21 帰宅困難者の想定結果

		帰宅困難者数(人)					
		公共交通機関		その他		計	
大阪府外 (近畿他府県)	大阪府内方面	162,000	(9.1%)	113,000	(6.3%)	274,000	(15.4%)
	大阪市方面	59,000	(3.3%)	29,000	(1.6%)	87,000	(4.9%)
	計	220,000	(12.4%)	141,000	(7.9%)	362,000	(20.3%)
大阪府内 (大阪市を除く)	大阪府外方面	166,000	(9.3%)	114,000	(6.4%)	281,000	(15.8%)
	大阪府内方面	91,000	(5.1%)	87,000	(4.9%)	178,000	(10.0%)
	大阪市方面	32,000	(1.8%)	23,000	(1.3%)	55,000	(3.1%)
	計	289,000	(16.2%)	225,000	(12.6%)	514,000	(28.9%)
大阪市	大阪府外方面	457,000	(25.7%)	63,000	(3.6%)	521,000	(29.3%)
	大阪府内方面	318,000	(17.8%)	66,000	(3.7%)	383,000	(21.5%)
	計	775,000	(43.6%)	129,000	(7.3%)	904,000	(50.8%)
合計		1,284,000	(72.2%)	495,000	(27.8%)	1,780,000	(100%)

表－22 徒歩帰宅者数の想定結果

発地	徒歩帰宅者数(人)		
	公共交通機関	その他(自動車)	計
大阪市	854,000	341,000	1,195,000
北大阪	166,000	306,000	472,000
東大阪	174,000	345,000	519,000
南河内	34,000	157,000	191,000
泉州	114,000	443,000	557,000
計	1,342,000	1,591,000	2,933,000

(3)帰宅困難者

地震発生後には、道路や鉄道等の施設被害、点検、交通規制等により、公共交通機関の途絶や一般自動車等の通行不能が生じ、通勤先、通学先や所用先等から自宅への帰宅が困難となる可能性がある。

第4回京阪神都市圏パーソントリップ調査結果(H12)より、大阪府と他府県間の流動及び大阪府内々の人の流動に着目して、帰宅困難となりうる最大人数を想定する。

発地別、方面別の帰宅困難者数の想定結果を表－21に、大阪府内の各地域から徒歩で帰宅する人数(平常時に徒歩や二輪で帰宅している人はのぞく)の想定結果を表－22に示す。